

人工呼吸器装着者向け 災害対策マニュアル (ご家族向け)

—総論—

松戸市医師会
災害医療救護対策委員会 作成
2022年9月19日 Ver.1

災害対策のポイント

★ライフラインが復旧するまでの

最低3日 確保

①**非常用電源**の確保

②医療材料・医薬品の**備蓄**（最低1週間）

③**情報収集・連絡**の手段

人工呼吸器装着者と災害

人工呼吸器を使っていても、大規模災害時は病院に避難入院できるとは限りません。

過去の大規模災害時、「自宅が停電した！」だけでは入院できなかつた地域もあります
(特に大都市圏)

→各ご家庭での事前の備えをおすすめします
(停電時に使える電源=「非常用電源」の確保)

医療的ケア児者と電源確保



電気を使う医療機器
が沢山！



災害時の非常用電源

◎ ポータブル電源 (蓄電池)
→いろいろな機械に使える
はすすめ！

○ 各機械専用の外付けバッテリー
→機械本体に装着しないと充電できない場合も

○ 車からカーインバーター経由で人工呼吸器につなぐ
→これだけだと車中泊になる

× ガソリン式・ガスボンベ式発電機
屋内での使用で死亡例あり・管理が煩雑
おすすめしない



ポータブル電源（蓄電池）

家庭用の持ち運び可能な蓄電池

（電気を貯めておいて必要な時に使える）



メリット

- ・いろいろな医療機器・家電に使える。
- ・過去の地震でも実際に使用できている

（※医療機器への使用に対するメーカー保証はなし）



災害時に
医療機器に給電

ポータブル電源の正しい選び方

- ・ 「正弦波」「純正正弦波」であること
(電圧の変化がなめらか)
- ・ 使用する医療機器の**必要電力数**を上回っていること
- ・ ACポートが**2個**以上あること
- ・ 車いすやバギーに載せるのなら乗るサイズのもの
- ・ 消耗品なので**定期的に買い替え**が必要
- ・ オプション：シガーアダプターやソーラーパネル

看護師さんと
一緒に選びましょう
※助成要件に注意



電気を使わない備え

<酸素> 災害時酸素ボンベに切り替え

おすすめ

<注入ポンプ> 自然滴下

普段から使い方に
慣れておく

<痰吸引>

3電源方式のもの (AC電源、内部バッテリー、DC電源)

ブルークロス社製 (手動式、足踏み式)

シリンジと吸引チューブ



事前の備えー電力会社・呼吸器業者

★電力会社のお客様番号をひかえておく

※停電時電力会社に復旧をお願いする

- ・電力会社の事前登録制度

医療的ケア児者の事前登録制度があり、
小型発電機の貸し出しが可能な場合も

- ・呼吸器業者

災害時電力不足の際連絡→バッテリー・
酸素ボンベを届けてくれることも

広域災害
だと
難しい

事前の備え－情報収集

自宅付近の想定される災害状況の確認

- ・防災ポータルサイト
- ・ハザードマップ
- ・（自治体による）防災メールサービス
- ・（市町村の）防災Twitter

自分の地域を知っておく

避難所について

- ・**指定避難所**の場所は知っておく
(水、食料の配給の拠点になる)

事前に市役所に
問い合わせてもOK

- ・**福祉避難所**の存在を知っておく
災害時に特別な配慮が必要となる、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦などの「要配慮者」が対象

令和3年5月の福祉避難所の確保・運営ガイドライン改定で要配慮者の中に「医療的ケアを必要とする者」が明記された
↔現状ではまだ、医療的ケア者の受け入れ体制が整っていないケースも
(避難所での電源含め)

医療的ケア児者の避難の課題

- ・過去の災害では、吸引や呼吸器の音、声を気兼ねして、避難所・福祉避難所へ避難した医療的ケア児者は少なかった。
- ・実際にご家族だけでの避難は困難
→できれば普段から助けてもらえる関係を
(自治会・消防団・近所の方など)

マンションの方にはおすすめ！
(エレベーターがとまつた時用)



災害時の連絡手段

★インターネットを媒介とした通信手段が有効

- ・パソコン・スマートフォン・携帯電話のメール
- ・メッセージ送信アプリ



★災害用伝言ダイヤル「171」も

まとめ



医療的ケア児・者の災害対策のポイント

- ・電源喪失で困っても病院には行けない可能性大
- ・お家でしのぐには**非常用電源確保**が肝
(できたら事前の練習を)
- ・災害時の連絡手段はインターネット経由が◎